

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 エストアー  
 コード番号 4304 URL <http://Estore.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長

(氏名) 森 淳

TEL 03-3595-1106

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,206	△1.0	144	33.5	143	35.1	97	36.0
30年3月期第1四半期	1,218	5.5	108	△10.6	106	△11.3	71	△12.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	18.96	—
30年3月期第1四半期	13.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,873	1,418	36.6
30年3月期	3,979	1,462	36.7

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 1,418百万円 30年3月期 1,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
31年3月期	—				

(注) 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では平成31年3月期における配当予想額は未定です。

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	5,540	9.8	531	△4.1	531	△8.7	367	△10.7

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	10,327,200 株	30年3月期	10,327,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

31年3月期1Q	5,165,902 株	30年3月期	5,165,902 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	5,161,298 株	30年3月期1Q	5,161,298 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記.....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
第1四半期累計期間 .....	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における売上高は 1,206,544千円(対前年同期間比 1.0%減)、営業利益は 144,491千円(同 33.5%増)、経常利益は 143,544千円(同 35.1%増)、当期純利益は 97,851千円(同 36.0%増)となりました。

売上高については、前年同期間比で横ばいですが、これは既報の戦略である契約数量の増加を無為に追うのではなく、契約品質(契約単価金額)の顧客獲得シフトに注力している中で、カバーしている状態にあります。増益の要因は、人件費の減少と年間を通しての予算投下に対して、まだ大きな投資を伴わない時期でもあること、また進捗推移を見ながらの投資であることから増益となっております。今後も投資効果を最大化するため、戦略的かつ流動的にプロモーションを継続してまいります。

以下、サービス別の業績を説明いたします。

#### マーケティングサービス：

調査分析・コンサルティングに加え、ページ制作や宣伝広告のアウトソーシングを受託するマーケティングサービスは、受注受託額が増加したことにより売上高は 267,022千円(同 12.0%増)と続伸しましたが、企業が抱える人手不足やEC強化の課題解決に応えるため、さらに人材育成を強化し受注増を目指します。

#### 販売システム：

販売システム(名称ショップサーブ)は、既報のとおり市場飽和状態の過当競争下で価格競争に陥って居る事から、引き続き、店舗数より単価を重視した戦略として来ました。そのため累計顧客店舗数は減少していますが、1顧客店舗当たりの流通額は 8%増加し、計画どおりに推移しております。結果、ストック売上高(月間固定料金)は 442,267千円(同 7.1%減)、フロウ売上高(商規模連動料金)は 486,247千円(同 1.7%減)となりました。

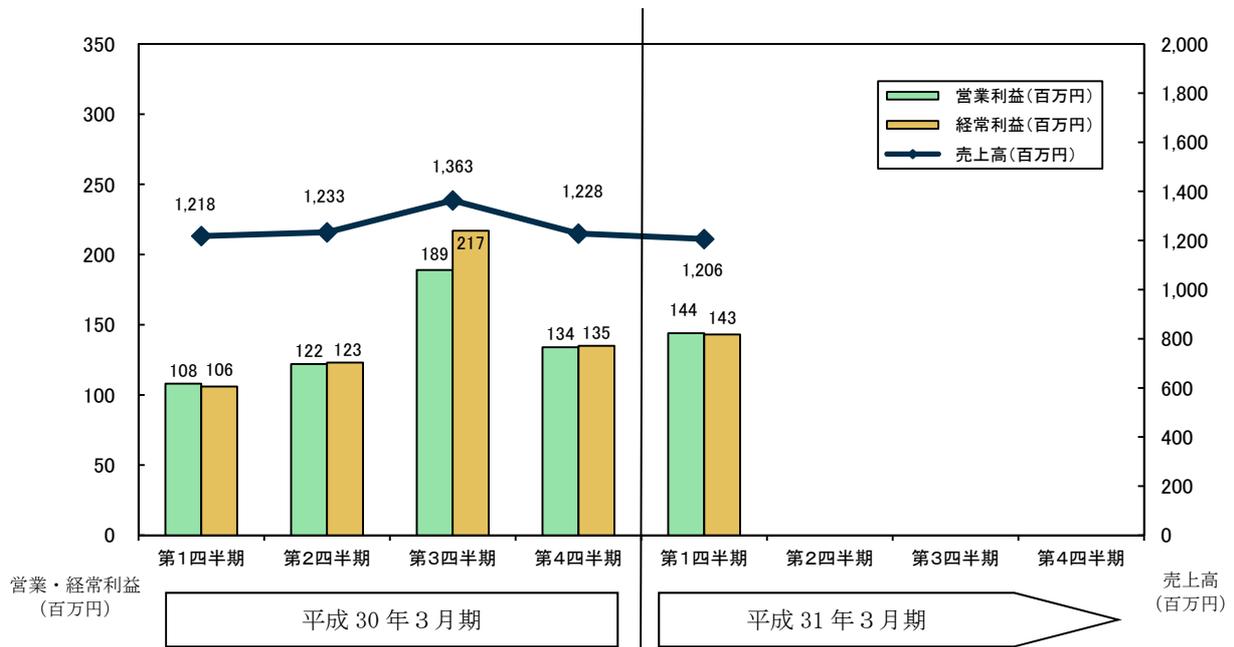
#### 販促システム：

販促システム(名称バックストア群)は、今期より販売を強化してまいりました。結果、販促システムの売上高は 2,217千円と、売上、利益への貢献はまだ先となる計画です。また、このサービスは、ヒト依存が低く、契約顧客数が一定数を超えてくることで利益率が上がる構造となっているため、プロモーションやシステム開発などの投資を継続して行い、利用件数を増やしていきます。

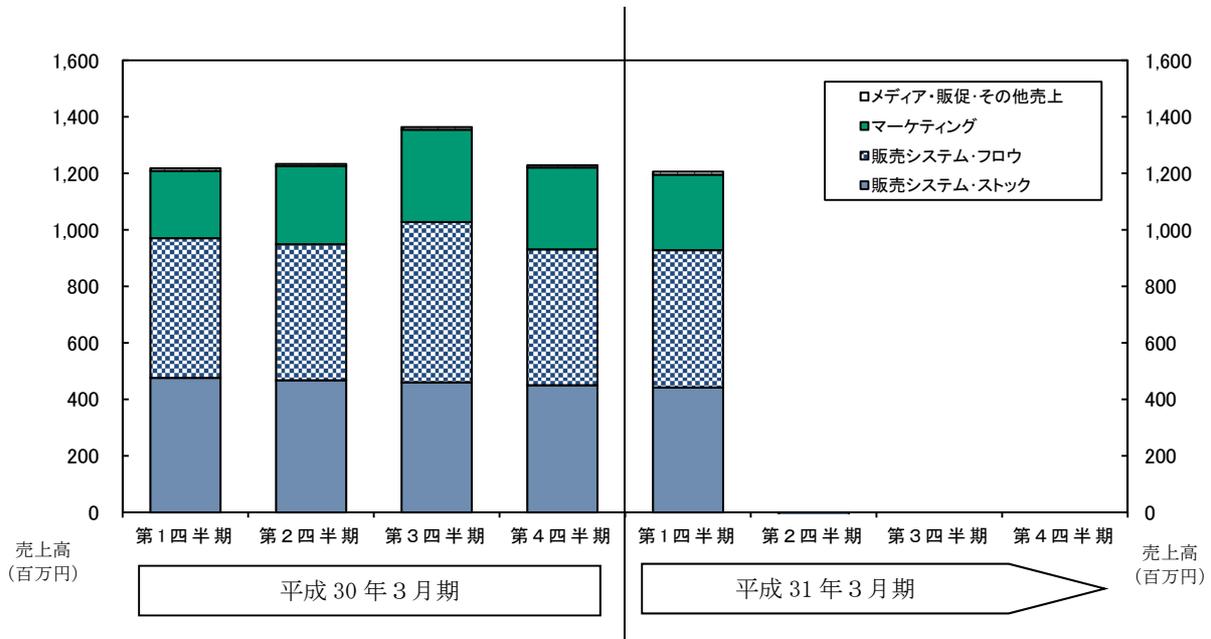
#### メディア、その他：

メディア(名称パーク)については、既報のとおり注力外として来ています。これを含めたその他売上高は 8,790千円となっています。

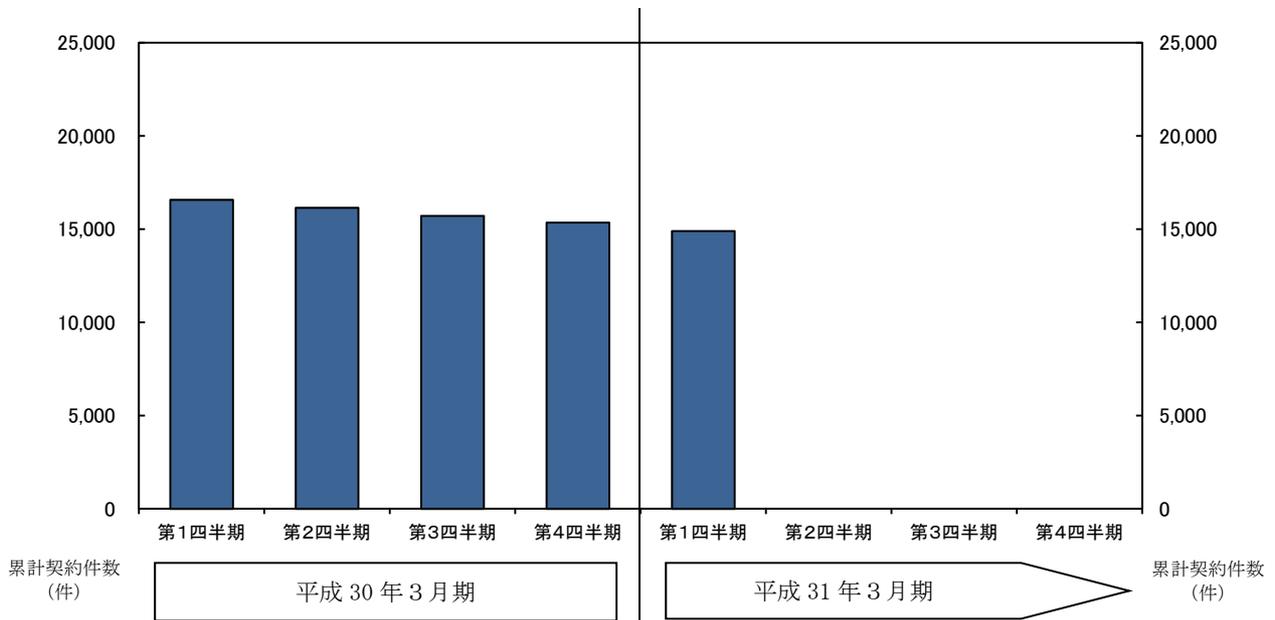
(売上・利益の四半期推移)



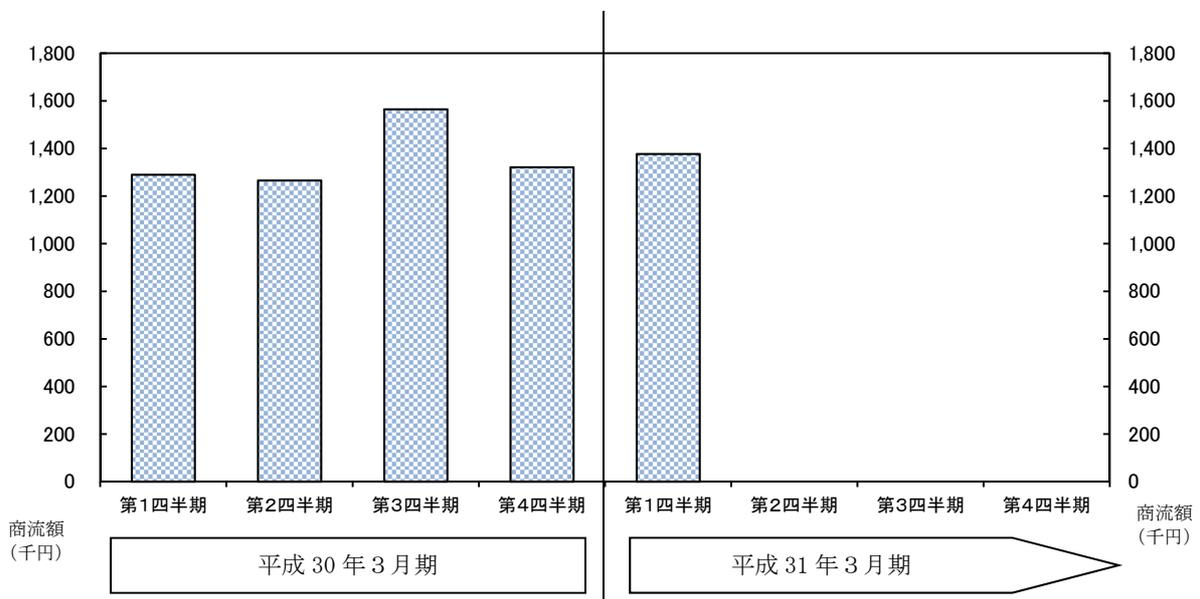
(売上種別)



(契約件数)



(1店舗あたりの商流額)



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、3,873,591千円となりました。

当第1四半期会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比で106,073千円減少し、3,873,591千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少140,681千円によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比で62,320千円減少し、2,454,840千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少74,880千円、賞与引当金の減少36,218千円、買掛金の減少21,229千円、預り金の増加108,134千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比で43,753千円減少し、1,418,750千円となりました。これは、平成30年3月期の配当金支払144,516千円があったものの、四半期純利益として、97,851千円を計上したことによります。これにより自己資本比率は36.6%(前事業年度末比0.1ポイント減)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月10日付「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,778,510	2,637,828
売掛金	604,575	569,350
貯蔵品	7,345	7,507
仮想通貨	12,257	11,547
その他	110,472	144,218
貸倒引当金	△2,518	△16,030
流動資産合計	3,510,643	3,354,422
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	73,202	68,933
その他(純額)	33,499	36,571
有形固定資産合計	106,702	105,504
無形固定資産		
	74,336	59,926
投資その他の資産		
投資有価証券	69,095	73,291
敷金	130,210	110,149
その他	88,678	170,297
投資その他の資産合計	287,983	353,738
固定資産合計	469,022	519,169
資産合計	3,979,665	3,873,591
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	226,608	205,378
未払金	74,942	50,382
未払法人税等	107,546	32,666
預り金	1,853,934	1,962,068
賞与引当金	72,436	36,218
その他	155,132	141,790
流動負債合計	2,490,601	2,428,505
固定負債		
資産除去債務	25,886	25,951
リース債務	672	384
固定負債合計	26,559	26,335
負債合計	2,517,161	2,454,840

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,461	539,461
利益剰余金	3,209,127	3,162,462
自己株式	△2,810,314	△2,810,314
株主資本合計	1,461,603	1,414,937
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	901	3,812
評価・換算差額等合計	901	3,812
純資産合計	1,462,504	1,418,750
負債純資産合計	3,979,665	3,873,591

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,218,216	1,206,544
売上原価	866,457	841,509
売上総利益	351,758	365,035
販売費及び一般管理費	243,520	220,544
営業利益	108,237	144,491
営業外収益		
受取利息	55	22
投資有価証券売却益	1,434	-
雑収入	130	11
営業外収益合計	1,620	33
営業外費用		
投資有価証券売却損	3,627	-
為替差損	3	153
仮想通貨評価損	-	819
雑損失	12	6
営業外費用合計	3,643	979
経常利益	106,214	143,544
税引前四半期純利益	106,214	143,544
法人税、住民税及び事業税	15,793	27,936
法人税等調整額	18,453	17,756
法人税等合計	34,247	45,693
四半期純利益	71,967	97,851

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。